

プログラム

- 一 開会。辞
- 二 議長選挙
- 三 書記任命
- 四 経過報告
- 五 祝辞祝電
- 六 議事
- 一 宣言発表、件
- 二 右翼党排撃ニ関スル件
- 三 中間党(所謂日本労働党)結成反対ニ関スル件
- 四 労働農民党支持ニ関スル件
- 七 閉会。辞

以上

宣言

わが國に於ける資本家階級は、歐州戦争後、先進資本主義國の競争の影射を受け、その國際的競争を續ける爲に、全無産階級に對する攻撃の積極的攻勢に轉じて来た。

此の結果わが無産階級運動は急速なる統一戦線の形成を必要とし、之が爲に我々はありやう犠牲を払つて、統一無産政党的、全國組合総聯合の組織に努力したるのである。

然るに、部分的・自然発生の經濟闘争の過程に於ては能く労働者農民の利害の爲に戦ひ来たつた小ブルジョア的・日和見主義的指導者等は、一に以て眞実の無産階級解放の爲の意識的闘争——全階級の政治戦線——の展開に当面するや、忽ちにしてその協調的正体を暴露するに至つた。而も支配階級の積極的懐柔政策は、右翼日和見主義者。小ブルジョア自由主義者を急速に結成せしめ、最近に至つては階級戦線の内部に於ける階級の裏切を續出せしめた。全國総聯合の破壊、日本農民党・社会民主党の組織は、孰れも無産階級運動刻下の急務たる労働農民戦線を攪亂し、労働者農民をブルジョア的・ブルジョア的行動に他ならぬ。

斯くの如き裏切行為に對して我々は全無産階級の爲に果敢なる闘争を續けて来た。然るに去る十一月廿三日、麻生・望月氏等に依つて日本